

# 生活行為工夫情報モデル事業

(社)日本作業療法士協会  
制度対策部福祉用具対策委員会

和歌山県担当  
和歌山県作業療法士会 住環境・福祉機器支援推進委員会  
小林 大作  
(紀州リハビリケア訪問看護ステーション)

## 事業実施の背景

### 【背景】

#### ○買い物や掃除など、軽度の生活支援が必要な高齢者の増加

・要支援者の多くは、廃用性症候群や骨・関節疾患等の原因によるものであり、基本的動作訓練や用具の利用、環境調整等によりIADLやADLの改善が図れる可能性が高い。

#### ○ケアマネジメントのプロセスにおける課題抽出力の不足

・当事者の有する能力の見直し(予後予測)が十分検討されず、現状に対してサービスが提供(お世話型)されていることが見受けられる。また、本人自身も生活改善の可能性に気がつかず、受け身的な生活となり、生活機能の低下を招ききっかけとなっている。

### 悪循環を好循環に変えるためには・・・



- 自ら自分の持つ潜在的な能力を正しく認識し、
- 生活行為の課題解決に向けて具体的にどのようにすれば良いのかを知ること、いわゆる、「課題解決力(エンパワメント)」を高めることが重要

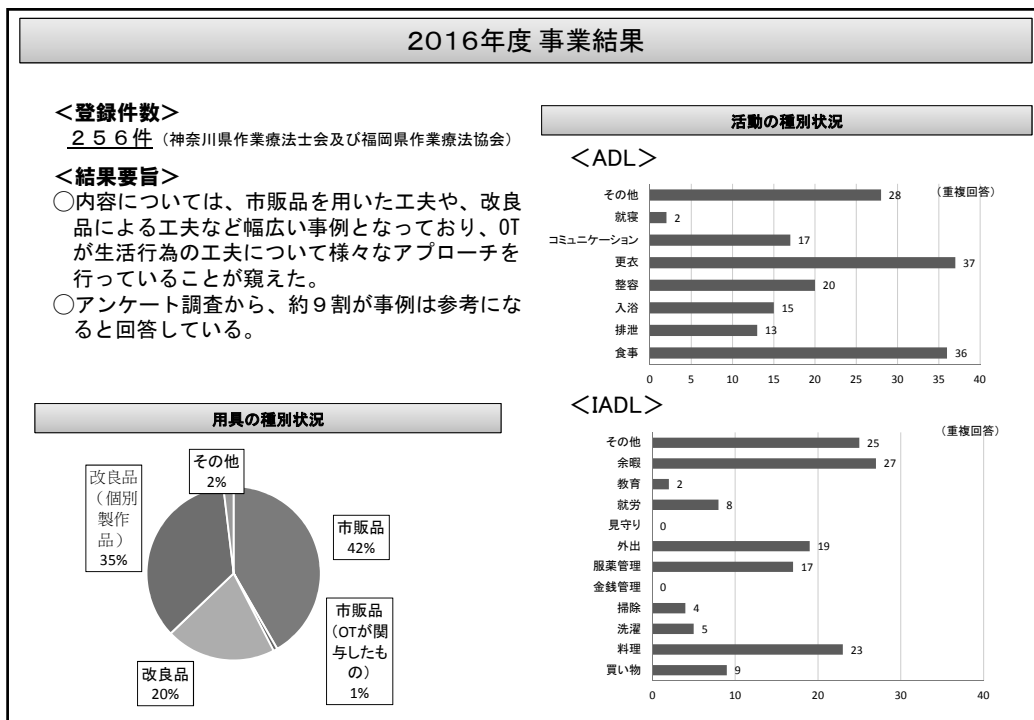
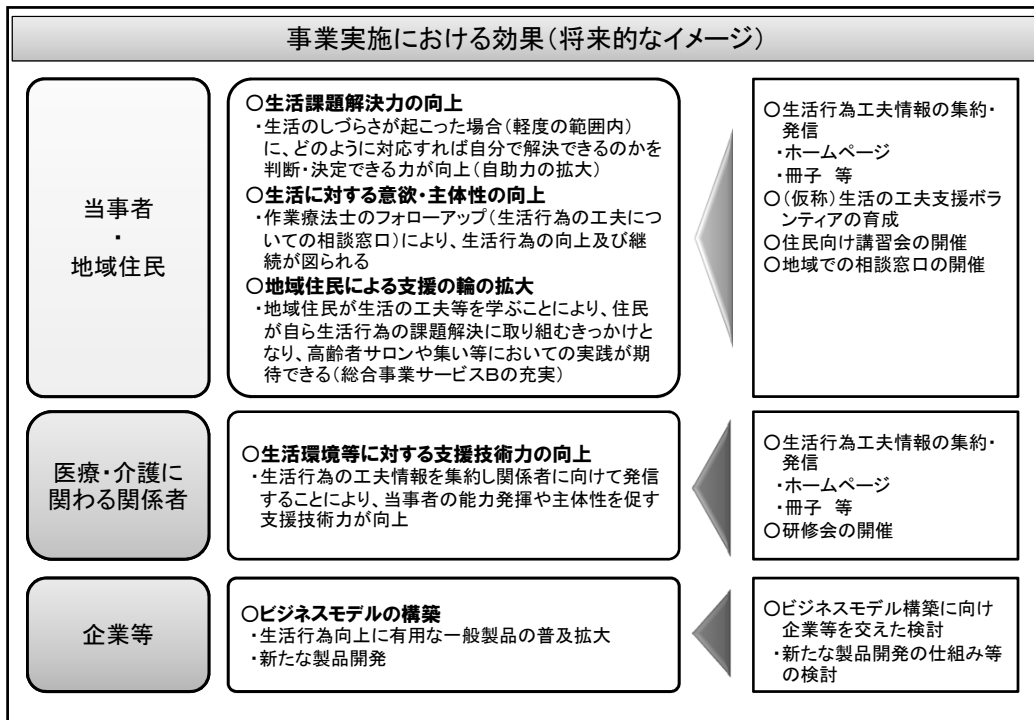


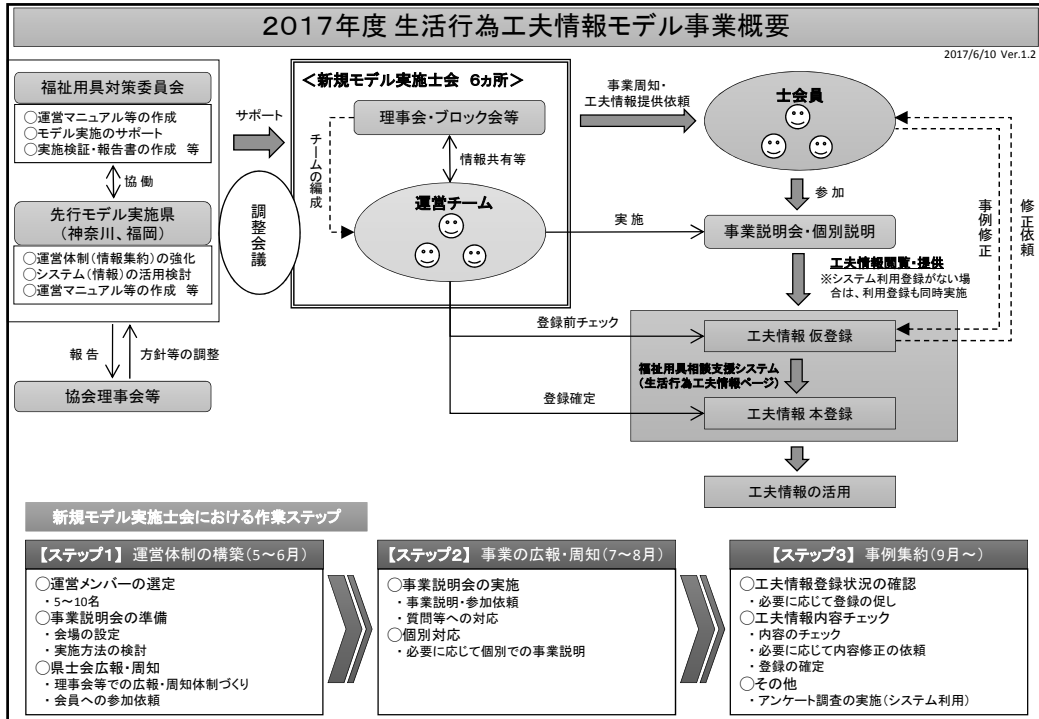
### 作業療法士による高齢者等の生活行為の課題解決に向けた支援の実施 (職種としての責務を果たす)

作業療法士は、その本人の有する能力が生活に活かされるよう、基本的訓練や動作方法の工夫、用具の利用、環境調整など、一人ひとりの生活全般を捉えた支援、いわゆる生活行為マネジメントを行うことを得意とする職種

生活行為工夫情報モデル事業	
<b>事業目的</b>	高齢者や障害者をはじめ生活行為に不自由さを感じているすべての住民が、自ら有する能力を発揮し、自分らしい生活を継続することができるよう、生活行為の課題解決に向けた工夫情報を当事者や関係者に対して幅広く提供する。
<b>ミッション</b>	住民が自ら生活行為の課題解決に向けた取り組みができるようになる(自己解決・自己選択の決定)
<b>事業の柱</b>	<p><b>1 関係者に向けた生活行為工夫情報の集約・発信</b> 高齢者や障害者等にとって不自由さを感じている生活行為の改善に役立つ身近な用具の利用法や動作方法の工夫等、生活行為に関する工夫情報を作業療法士の視点から集約し、作業療法士をはじめ、関係者が当事者や地域に関わる際にその情報を活用できる仕組みを構築する。</p> <p><b>2 住民に向けた生活行為工夫情報の普及・啓発</b> 住民が自ら生活行為の課題解決に取り組むことができるよう、生活行為工夫情報の普及・啓発を図るとともに、身近な地域で相談できる体制を構築する。</p>

生活行為工夫情報の提供等について	
<b>将来的な事業スキーム(案)</b>	
<p>■ 2016年度～事業の効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2カ所の県において試行実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活行為工夫情報の内容や集約方法、事業の効果・妥当性等について検証</li> </ul> </li> </ul>	
<p>■ 2017年度～生活行為工夫情報の提供体制基盤整備（モデル実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国8カ所の県においてモデル実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活行為工夫情報の収集・整理・発信の仕組みを調査研究</li> </ul> </li> <li>○ データベースの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供に向けたデータベースの整備</li> </ul> </li> <li>○ ビジネスモデルの検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活行為向上に有用な一般製品の提供の仕組みや新たな製品の開発等について検討</li> </ul> </li> </ul>	
<p>■ 2018年度～生活行為工夫情報の提供体制基盤整備（本格実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全国の県を対象に情報を集約化(3/4以上を目標)</li> <li>○ 情報提供基盤の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等により作業療法士及び関係者(医療・介護・行政等)が閲覧できる仕組みの構築</li> </ul> </li> </ul>	<p>国の補助金等 (老人保健健康増進等事業等)の活用</p>
<p>■ 2019年度以降～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各県における相談体制の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活行為の工夫について身近な地域での相談窓口の開設について検討</li> </ul> </li> <li>○ 住民への情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小冊子(住民向け、自治体向け)の作成</li> <li>・住民向け講習会の実施(特定の自治体においてモデル実施より展開)</li> </ul> </li> <li>○ ボランティア育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)生活の工夫支援ボランティアの育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 地域で活動する実践者を育成し、活動が継続できるよう支援</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	





### 生活行為工夫情報 記入シート


表題(内容が分かるように簡潔明瞭に)	○○で困っている○○の方に○○を用いた(工夫した)事例	
事例概要	以下の流れで概要を記入する。 【疾患・障害状況】○○の状態の人が、 【動作・活動・参加の制限】○○のことで困っているため、 【動作の方法や用具を用いた工夫】○○を○○のように用いる(する)ことを提案し、 【達成度】当事者が実践したところ、その動作ができるようになった。	
疾患等(リストより選択)		
心身機能・構造の特徴		
活動の種類※1(番号より選択)		
活動・参加の制限の特徴		
用具の種類※2(番号より選択)		
工夫したポイント		
利用上の留意点(注意点、デメリット等)		
画像	用具の外観(画像)	
	つくり方(画像)	
	活用場面(画像)	
	画像の説明	
使用した製品	商品名	
	入手先	
利用者の声		
備考		


※1 活動の種類


- (1)ADL a 食事 b 排泄 c 入浴 d 整容 e 更衣 f コミュニケーション(コール含む) g 就寝 h 起居 i 移動 j その他(具体的記述)
- (2)IADL a 買い物 b 料理 c 洗濯 d 掃除 e 金銭管理 f 服薬管理 g 自動車 h 電車・バスなどの公共交通機関 i その他(具体的記述)
- (3)就労
- (4)教育
- (5)余暇(レクリエーション・ゲーム・外出・旅行を含む)
- (6)介助用(移乗・見守りなど)
- (7)その他(具体的記述)

※2 用具の種類

- (1)市販品・身近な店(通販を含む)で購入できる一般製品
- (2)改良品・障害等がより便利に使用できるような一般製品を改良したもの
- (3)個別製作品・障害特性に合わせて個別に製作したもの
- (4)開発品・OTがアイデアを提供し製品化されたもの
- (5)その他:上記に含まれないもの

調理・電子レンジ操作の工夫 (認知症 機械が苦手な高齢者)		電子レンジのボタンが多くて、どれを押せばよいかわからない方に対して、不要なボタンを隠す(市販品)
<p>認知症や機械音痴の高齢者の方が、電子レンジのボタンをどれを押せばよいかわからないので、不要なボタンをビニルテープなどを張って、隠すようにすることで迷わずにボタンを押して弁当などをあたためるようになった。</p> <p>【利用者・家族の声】 あたたかい弁当が食べられるようになった。</p>		
心身機能・構造の特徴	認知能力の低下など	
活動・参加の制限の特徴		
工夫したポイント	電子レンジのボタンが多くて、どのボタンを押せばよいかわからずに混乱していたため、【あたため】【取り消し】ボタン以外のボタンの部分にビニルテープを張って隠した。	
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	そのほかのボタンが見えなくなるため、もし必要時があるときは押せなくなる。	
使用した製品	商品名(材料名)	ビニルテープ
	入手先・価格	100円均一店・ホームセンター 100円程度
備考		

更衣・靴紐結びの工夫 (脳卒中 片麻痺)		靴履き動作で困っている脳卒中片麻痺の方に、一人で靴が履けるようにゴムの靴紐を用いた事例(市販品)
<p>脳卒中片麻痺にて、両手での細かい動作が出来ず、靴紐が結べずに困っているため、市販のゴムの靴紐を靴に使用することを提案し当事者が実践したところ、靴履き動作では靴紐を結ぶ動作がなくなり、靴がひとりで履けるように(やりやす)くなった。</p> <p>【利用者・家族の声】 介護用の靴ではなく、市販の靴で、靴紐を結ばなくても良い。一人で履けるようになった。</p>		
心身機能・構造の特徴	片麻痺	
活動・参加の制限の特徴		
工夫したポイント	本人の靴(市販品の靴)に直接取り付ける際に、ちょうど良いキツさに調整をする。	
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	靴を変えた時に、キツさの調整が必要。	
使用した製品	商品名(材料名)	キャタピラン
	入手先・価格	靴屋 980円
備考		

更衣・ファスナー操作の工夫 (脳卒中 片麻痺)		上衣ファスナー操作が困難な脳卒中片麻痺患者の方に、 上衣固定ベルトを用いた事例(市販品の改良)	
<p>脳卒中片麻痺患者の方が、上衣のファスナー操作時に、「左手が全く使えないので、時間がかかってしまう」と困っていたので、コーティングクリップ・カバン用ショルダーベルト・アンクルベルトで作成した上衣固定ベルトを提案・実践した結果、片手で上衣のファスナー操作が容易になった。</p> <p>【利用者・家族の声】 ファスナーが閉め易くなった</p>			
心身機能・構造の特徴	片側の upper 手指(Br.stage 左上肢Ⅴ 左手指Ⅱ)の機能障害		
活動・参加の制限の特徴	上衣のファスナーを閉める動作が、一人で行うのに時間を要していた。		
工夫したポイント	ファスナーの下止を、クリップ固定することで、片手でのスライダ操作が容易になった。		
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	ファスナーの下止固定位置が適正でないと、スライダ操作時に、クリップ固定が外れる可能性がある。		
使用した製品	商品名(材料名)	コーティングクリップ、カバン用ショルダーベルト、アンクルベルト	
	入手先・価格	100円均一店 324円	
備考			

更衣・靴下履きの工夫 (妊婦)		妊娠中に靴下を履くのに困難が生じた方にソックスエイドを工夫した事例(個別製作品)	
<p>妊娠8か月の女性がお腹が大きく靴下を履くことが難しかった為ソックスエイドを作成し提供したところ問題なく自立できた。</p> <p>【利用者・家族の声】 これを使わないとお腹が邪魔で靴下が履けない。</p>			
心身機能・構造の特徴	妊娠中で一時的な問題ではあるが、足に手を伸ばすことが難しい。		
活動・参加の制限の特徴	冷えやすい足を温める時や出かける際に靴下が自分で履けない(履くのに相当な努力や圧迫感がある)		
工夫したポイント	紐を引っ張りやすいように持ち手に玉をつけた。		
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	五本指ソックスは難しい。		
使用した製品	商品名(材料名)	クリアポケットファイル、紐、持ち手の玉	
	入手先・価格	100円均一店 108円×3個(紐や玉はなんでもよい)	
備考			

更衣・靴履きの工夫 (脳梗塞 片麻痺)		靴が自力で履けずに困っている脳梗塞の方に靴の踵に工夫をした事例(市販品)	
<p>脳梗塞右片麻痺の状態の人が、靴履きができず困っているのを、靴の踵の部分にリングをつけることを提案し、当事者が実践したところ、その動作ができるようになった。</p> <p>【利用者・家族の声】 これがあるだけでぜんぜん違うので驚きました。</p>			
心身機能・構造の特徴	右片麻痺		
活動・参加の制限の特徴	食事・排泄・入浴・更衣・整容・屋内の移動は環境が整っていれば自立できています。しかし、椅子に腰掛けた状態で、前かがみの姿勢を保って、足先に手を伸ばす動作が安定しません。		
工夫したポイント	材料を購入しなくても身近にあるもので作成しました。		
利用上の留意点 (注意点、デメリット等)	踵部分まで手が届かない方には使用できません(延長フックなどの工夫が必要)。		
使用した製品	商品名(材料名)	キーホルダーのリング	
	入手先・価格		
備考			